

大分大学とパーク24株式会社が 「ライフサイクルCO2削減」に関する 共同研究を開始



大分大学経済学部*

パーク24株式会社

*中本 裕哉

(y-nakamoto@oita-u.ac.jp)

共同研究の内容・目的

(内容)

- 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、**サステナブルなモビリティシステム**の構築が進められています。
- **カーシェアリングによる社会全体のライフサイクルCO₂排出削減貢献量**を把握するための共同研究を開始しました。

(目的)

- **個人による自動車保有からカーシェアリングへの移行**が、どの程度CO₂排出削減に寄与するかを明らかにし、その効果をさらに高めるための方策について検証します。



タイムズカー1台



=

保有車16台



(パーク24, 社会全体のCO2削減への貢献)

www.park24.co.jp/sustainability/environment/co2-reduction.html

共同研究の特色・特徴

データ

タイムズカー（車両：約6万台、会員：約332万人）の

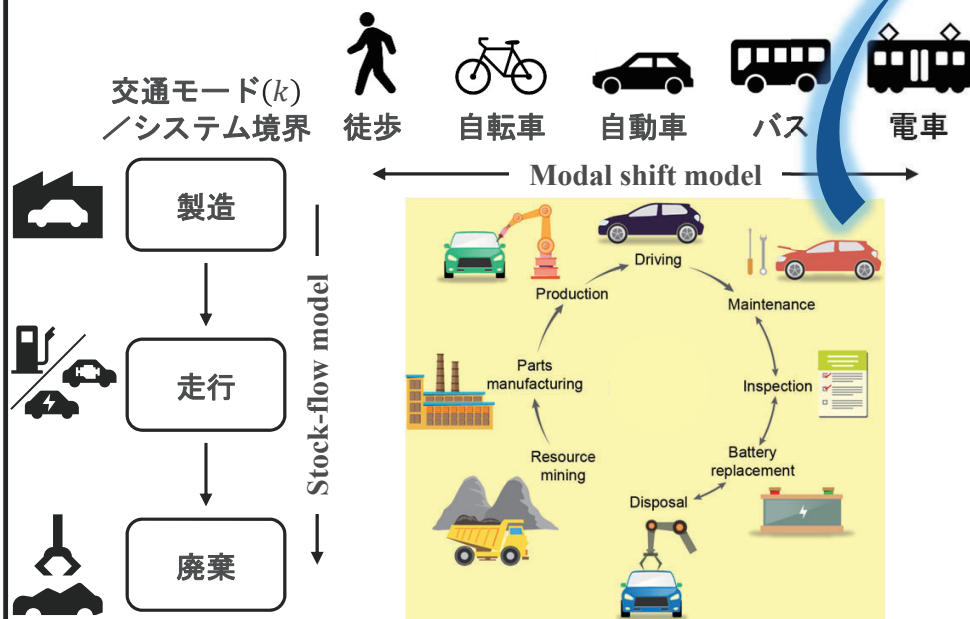
✓ 利用実績データ

✓ 会員属性データ

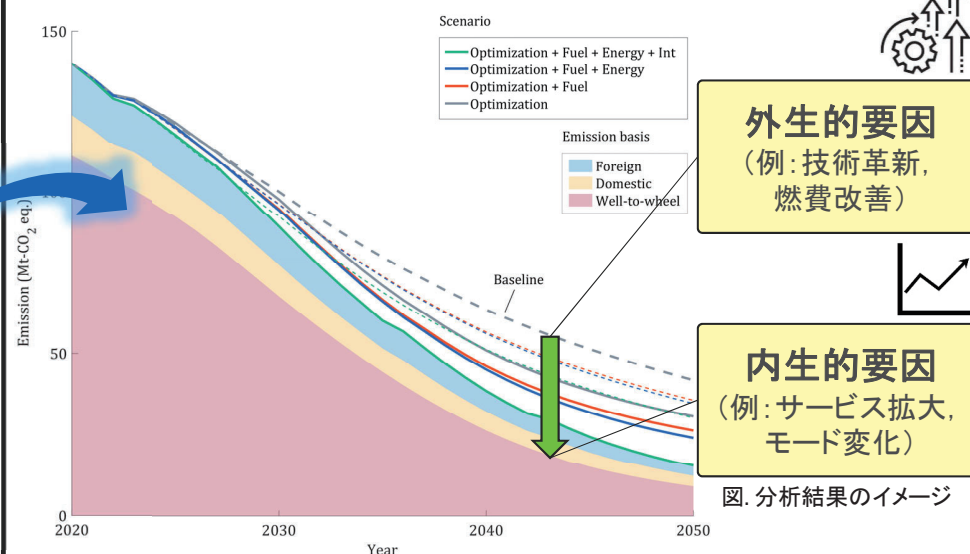


パーク24

ライフサイクル分析



シナリオ分析のイメージ



カーシェアリングCO₂排出削減量 = シェアカーのLC-CO₂

ー 対応する移動需要を満たす保有車のLC-CO₂

※ LC-CO₂: ライフサイクルCO₂排出量

カーシェアリングの普及・拡大により生じる人々の交通手段の変化(行動変容)が、

✓ これまでどの程度のCO₂排出削減に貢献してきたか？

✓ 今後どのような貢献が見込まれるか？